

令和6年度

農業集落排水事業統計年報



秋田市上下水道局

『 秋 田 市 に つ い て 』

面 積	人 口 (秋田市人口世帯表)	市制施行
906.07 km ²	293,116 人(R7.3.31 現在)	明治 22 年 4 月 1 日

◎ 地名の由来

その昔、秋田市は「鷲田（あぎた）」または「飽田（あいた）」と呼ばれるエゾ地でした。
明治 4 年 1 月 13 日第 12 代の藩主佐竹義堯^{よしたか}が、朝命によって「秋田」と改称しました。

◎ おいたち

天平 5 年(733)日本北辺の守りとして高清水の丘に出羽柵「秋田城」が築かれています。
南北朝時代(1333～1391)を経て、足利期の戦国時代には、安部貞任の一族である安東(秋田)実季が湊城主として現在の土崎にいました。

関ヶ原合戦のひきがねとなった家康の会津征戦に際して、その態度があいまいであったとして、慶長 7 年(1602)藩祖佐竹義宣が常陸(茨城県)54 万石から出羽秋田 20 万石に国替えを命じられ、翌年現在の千秋公園に城を築き、藩名を「久保田」と改めました。

明治 4 年の廃藩置県のあと、明治 22 年 2 月 2 日市制施行の指定を受け、同年 4 月 1 日に市制を施行、現在の千秋矢留町に 7 月 12 日市役所を開庁しました。(当時の人口 29,279 人、面積 6.87k m²)その後、明治、大正、昭和を経て大きな戦災もなく終戦を迎え、昭和 30 年代までに 8 回にわたり周辺町村との合併を重ねながら発展し、平成元年には、市制施行から 100 年という節目を迎えました。

更に平成 9 年 4 月 1 日に、東北初の中核市指定を受けたほか、平成 17 年 1 月 11 日には、河辺町、雄和町の編入合併により新たな「秋田市」が誕生し、市域の拡大と共に人口も約 33 万 5 千人となりました。なお、現在の人口は約 29 万 3 千人となっております。

◎ 位置

秋田市は地理的には秋田県のほぼ中央にあり、西部海岸に位置し日本海に面しています。

市の東には出羽丘陵、太平山を擁し、南に雄物川、そして市街地を北から南に旭川が流れ、山、川、海、丘のある美しいまちです。

秋田市は、東経 140 度 6 分で東京とほぼ同じ同位線上、緯度は北緯 39 度 43 分で、ニューヨークと同位、海拔は平坦地で 5.7m です。

◎ 市章



昭和3年6月に制定され、藩主佐竹氏の居城であった「矢留の森(千秋公園)」を表したもので、的に矢を配し、秋田の「田」の字と「矢留」を表現して秋田市章とした。

◎ 秋田市の花・木



さつき



けやき

◎ シンボルカラー

若草色（若さ、健康、明るい建設的な息吹のイメージ、そして、さわやかな公園都市を象徴している。）

目 次

秋田市について

1	総 説	
(1)	農業集落排水事業等のあゆみ	9
(2)	農業集落排水事業の概要	11
	(イ) 農業集落排水事業	
	(ロ) 農業集落排水施設機能強化事業	
(3)	個別排水処理施設整備事業の概要	11
(4)	施設配置図	12
2	施 設	
(1)	管路延長およびマンホールポンプ数	15
	(イ) 農業集落排水事業	
(2)	処理施設	16
	(イ) 農業集落排水事業	
	(ロ) 個別排水処理事業	
3	業 務	
(1)	業務実績総括表	23
(2)	処理水量	24
	(イ) 農業集落排水事業	
	(ロ) 個別排水処理事業	
(3)	管路の小破補修状況	26
(4)	農業集落排水施設使用料等収入状況	28
	(イ) 農業集落排水施設使用料および農業集落排水事業分担金	
	(ロ) 個別排水処理施設使用料および個別排水処理施設整備事業分担金	
	(ハ) 特定地域生活排水処理施設使用料 および特定地域生活排水処理施設整備事業分担金	
(5)	使用状況	34
	(イ) 用途、使用水、段階別使用状況	
(6)	水洗化融資あっせん等	36
	(イ) 制度の概要	
	(ロ) 融資あっせん等の状況	
(7)	排水設備工事件数	38
	(イ) 農業集落排水事業	
	(ロ) 個別排水処理事業	

4	經 理	
(1)	収益の収支（損益計算書）	42
(2)	資本の収支	44
(3)	貸借対照表	46
(4)	財務分析	48
(5)	企業債内訳	50
5	使用料等	
(1)	現行使用料等	53
	(イ) 農業集落排水施設使用料、個別排水処理施設使用料	
	(ロ) 農業集落排水事業分担金	
	(ハ) 個別排水処理施設整備事業分担金	



1 総 説



岩見三内中央農業集落排水処理施設



1 総説

(1) 農業集落排水事業等のあゆみ

明治22年 4月 1日	秋田市制施行
農業集落排水事業	
昭和60年12月24日	秋田市農業集落排水事業分担金徴収条例施行
平成元年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例施行
	豊岩豊巻農業集落排水施設供用開始
平成 2年 4月 1日	豊岩小山、豊岩石田坂農業集落排水施設供用開始
平成 4年10月16日	外旭川笹岡農業集落排水施設供用開始
平成 7年 4月 1日	秋田市農業集落排水事業分担金徴収条例一部改正
平成 7年10月26日	下北手寒川農業集落排水施設供用開始
平成 9年 1月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (使用料の基本割料、人員割料の改定)
平成 9年 4月 1日	下新城北部農業集落排水施設供用開始
平成12年 4月 1日	上新城農業集落排水施設供用開始
平成14年 4月 1日	下新城南部農業集落排水施設供用開始
平成16年 4月 1日	上北手東部農業集落排水施設供用開始
平成16年 7月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (使用料の人員割から従量制への改定)
平成17年 1月11日	1市2町合併(秋田市、河辺町、雄和町) 秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (河辺岩見三内中央・飛沢・赤平・下三内・砂子渕、雄和新波・向野・戸賀沢・萱ヶ沢・種平農業集落排水施設の追加)
	秋田市農業集落排水事業分担金徴収条例一部改正
平成17年 4月 1日	雄和種平農業集落排水施設の処理区域の追加
平成20年 4月 1日	下北手中央、河辺岩見農業集落排水施設供用開始
平成22年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (上下水道局へ組織統合)
	秋田市農業集落排水事業分担金徴収条例一部改正 (上下水道局へ組織統合)
	地方公営企業法の全部を適用
平成25年 3月31日	金足農業集落排水施設一部供用開始
平成25年 5月30日	金足農業集落排水施設全面供用開始
平成26年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (金足農業集落排水を公共下水道へ編入)
平成29年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (下北手寒川農業集落排水を下北手中央へ編入)

平成31年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (河辺飛沢農業集落排水を岩見三内中央へ編入)
令和 2年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (河辺砂子淵農業集落排水を河辺三内へ編入)
令和 3年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (豊岩石田坂農業集落排水施設を廃止し、公共下水道へ編入)
令和 3年10月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (豊岩豊巻、豊岩小山農業集落排水施設を廃止し、公共下水道へ編入)
令和 4年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (外旭川笹岡、雄和戸賀沢農業集落排水施設を廃止し、公共下水道へ編入)
令和 5年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (下新城北部、下新城南部農業集落排水施設を廃止し、公共下水道へ編入)
令和 6年 4月 1日	秋田市農業集落排水施設条例一部改正 (上新城農業集落排水施設を廃止し、公共下水道へ編入)
個別排水処理事業	
平成17年 1月11日	秋田市個別排水処理施設条例施行 秋田市個別排水処理施設整備事業分担金条例施行
平成19年12月 1日	秋田市個別排水処理施設条例一部改正 (使用料算定方法)
平成20年 4月 1日	秋田市個別排水処理施設整備事業分担金条例一部改正 (分担金の改定)
平成22年 4月 1日	秋田市個別排水処理施設条例一部改正 (上下水道局へ組織統合) 秋田市個別排水処理施設整備事業分担金条例一部改正 (上下水道局へ組織統合) 地方公営企業法の全部を適用

（２）農業集落排水事業の概要

秋田市では、昭和 58 年度から農業集落排水施設整備を進めており、令和 7 年 3 月末現在、合計 11 地区で供用している。

また、施設機能強化事業として処理施設の経年劣化等の理由により老朽化した処理機能回復および隣接する処理区との集約化を進めている。

（イ）農業集落排水事業

農業集落排水事業は、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、さらには農村の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与することによって、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成に資することを目的としている。

（ロ）農業集落排水施設機能強化事業

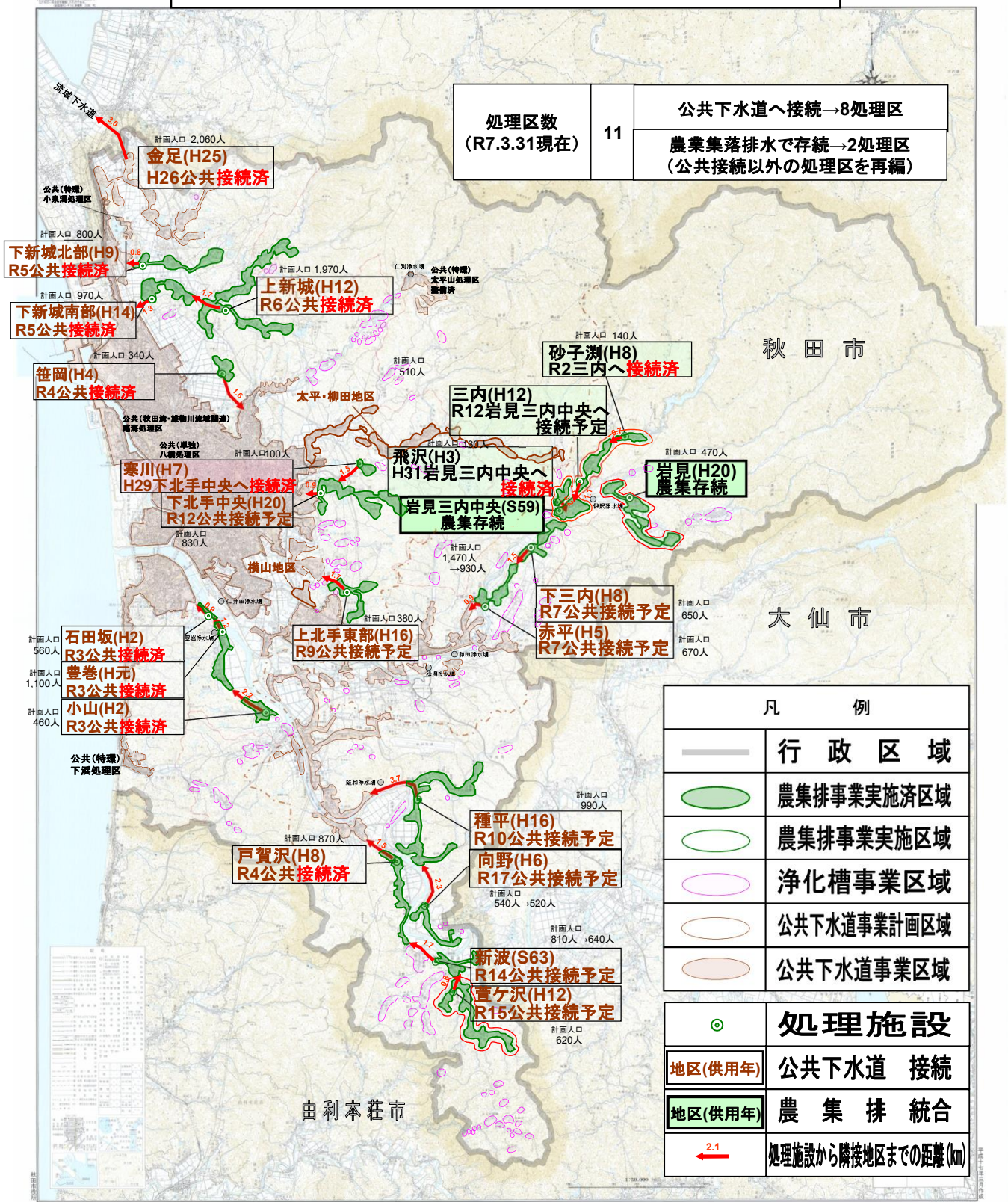
農業集落排水施設を取り巻く環境の変化による処理人口の減少、排水規制の強化等があった場合の汚水処理施設や管路施設等の改築および老朽化した施設の機能低下の回復を図るとともに隣接する処理区の集約化を進める。

（３）個別排水処理施設整備事業の概要

秋田市では、下水道計画区域および農業集落排水事業区域を除いた地域において、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するとともに、生活環境の改善を図ることを目的として、平成 14 年度から合併浄化槽を市で設置して管理する個別排水処理施設整備事業を進めている。

令和 7 年 3 月末現在で 274 基（事業進捗率 31.8%）の浄化槽を設置している。

農業集落排水処理施設配置図(H28～R17)



2 施 設



下北手中央農業集落排水処理施設



2 施設

(1) 管路延長およびマンホールポンプ数

(イ) 農業集落排水事業

地域	年度 地区名	R4年度		R5年度		R6年度	
		管路延長 [m]	ポンプ数 [基]	管路延長 [m]	ポンプ数 [基]	管路延長 [m]	ポンプ数 [基]
秋田 田 地 域	豊 巻	公共下水道へ接続					
	小 山	公共下水道へ接続					
	石 田 坂	公共下水道へ接続					
	笹 岡	公共下水道へ接続					
	下 新 城 北 部	8,945	6	公共下水道へ接続			
	上 新 城	19,798	20	19,798	20	公共下水道へ接続	
	下 新 城 南 部	9,166	11	公共下水道へ接続			
	上 北 手 東 部	5,740	5	5,740	5	5,740	5
	下 北 手 中 央	15,289	30	15,289	30	15,289	30
	小 計	58,938	72	40,827	55	21,029	35
河 辺 地 域	岩 見 三 内 中 央	7,820	4	7,820	4	7,820	4
	赤 平	5,776	2	5,776	2	5,776	2
	下 三 内	7,014	1	7,014	1	7,014	1
	砂 子 渕	三内へ統合					
	三 内	9,390	7	9,390	7	9,390	7
	岩 見	10,669	10	10,669	10	10,669	10
	小 計	40,669	24	40,669	24	40,669	24
雄 和 地 域	新 波	4,415	3	4,415	3	4,415	3
	向 野	5,324	4	5,324	4	5,324	4
	戸 賀 沢	公共下水道へ接続					
	萱 ケ 沢	10,167	16	10,167	16	10,167	16
	種 平	16,810	25	16,810	25	16,810	25
	小 計	36,716	48	36,716	48	36,716	48
合 計		136,323	144	118,212	127	98,414	107

(2) 処理施設

(イ) 農業集落排水事業

地域	項目	所在地	敷地面積 [m ²]	処理方法	現在処理能力 [m ³ /日最大]
	地区名				
秋田地域	上北手東部	上北手猿田字寺村99番地2	1,200.00	JARUS-Ⅰ	102.6
	下北手中央	下北手桜字桜谷地80番地2	1,446.45	JARUS-XIVG	267.3
	小計		2,646.45		369.9
河辺地域	岩見三内中央	河辺三内字外川原80番地	538.00	JARUS-XIVG	286.2
	赤平	河辺高岡字河原田下段482番地5	1,340.28	JARUS-Ⅲ	180.9
	下三内	河辺三内字田尻面108番地2	1,100.06	JARUS-Ⅲ	175.5
	三内	河辺三内字三内段ノ下194番地2	1,292.21	JARUS-Ⅲ	137.7
	岩見	河辺岩見字西小出108番地1	1,463.31	JARUS-Ⅰ	126.9
	小計		5,733.86		907.2
雄和地域	新波	雄和新波字新町183番地3	730.37	ソイルシステム	192.0
	向野	雄和左手子字尺野木沢195番地2	1,699.34	JARUS-Ⅲ	143.1
	萱ヶ沢	雄和碓田字下山田62番地	1,947.00	JARUS-Ⅲ	167.4
	種平	雄和平尾鳥字外ノ沢8番地1	2,603.38	JARUS-Ⅲ	267.3
	小計		6,980.09		769.8
合計			15,360.40		2,046.9

供用開始	計画処理戸数 [戸]	計画処理人口 [人]	処理区域面積 [ha]	総事業費 [千円]	放流先
平成16年 4月	98	380	17.0	802,672	猿田川
平成20年 4月	276	930	39.6	1,112,782	水路→宝川
	374	1,310	56.6	1,915,454	
昭和59年 6月	334	1,060	36.0	733,318	排水路→岩見川
平成 5年 4月	157	670	29.0	695,412	排水路→岩見川
平成 8年 4月	171	650	27.5	966,000	排水路→岩見川
平成12年12月	171	650	28.8	1,203,341	三内川
平成20年 4月	132	470	19.9	820,303	水路→小出沢川
	965	3,500	141.2	4,418,374	
昭和63年12月	163	640	30.5	386,598	排水路→新波川
平成 6年 7月	63	540	11.0	646,639	排水路→雄物川
平成12年12月	146	620	31.2	1,292,822	排水路→新波川
平成16年 7月	261	990	66.6	1,703,054	排水路→雄物川
	633	2,790	139.3	4,029,113	
	1,972	7,600	337.1	10,362,941	

(口) 個別排水処理事業

項目 地域名		設置基数			
		5人槽 [基]	7人槽 [基]	10人槽 [基]	合計 [基]
個別排水 処理施設	秋 田 地 域	0	1	0	1
	河 辺 地 域	27	38	1	66
	雄 和 地 域	0	0	0	0
	小 計	27	39	1	67
特定地域 生活排水 処理施設	秋 田 地 域	34	52	2	88
	河 辺 地 域	26	34	3	63
	雄 和 地 域	12	41	3	56
	小 計	72	127	8	207
合 計		99	166	9	274

現在処理能力 [m ³ /日最大]	処理区域面積 [ha]	計画処理面積 [ha]	計画処理人口 [人]	計画処理能力 [m ³ /日最大]	総事業費 [千円]
0.0	0.0	0.0	0	0.0	0
82.0	2.2	2.2	270	82.0	67,069
0.0	0.0	0.0	0	0.0	0
82.0	2.2	2.2	270	82.0	67,069
113.6	2.9	6.6	730	266.4	100,344
79.6	2.1	4.0	439	160.4	64,612
75.4	1.8	2.6	283	103.2	60,889
268.6	6.8	13.2	1,452	530.0	225,845
350.6	9.0	15.4	1,722	612.0	292,914



3 業 務



岩見農業集落排水処理施設



3 業務

(1) 業務実績総括表

区分 \ 年度	令和6年度			
住民基本台帳人口 (A)	291,412 人			
住民基本台帳世帯数	146,496 世帯			
行政区域面積	90,607 ha			
下水道区分	農業集落排水事業	個別排水処理事業	特定地域生活排水処理事業	合計
処理区域内人口 (B)	3,951 人	158 人	454 人	4,563 人
処理区域内面積	337 ha	2 ha	7 ha	346 ha
普及率 (B/A)	1.4 %	0.1 %	0.2 %	1.6 %
水洗化人口 (C)	3,739 人	145 人	430 人	4,314 人
水洗化率 (C/B)	94.6 %	91.8 %	94.7 %	94.5 %
年間総処理水量	476,723 m ³	12,860 m ³	36,357 m ³	525,940 m ³
汚水処理水量 (D)	476,723 m ³	12,860 m ³	36,357 m ³	525,940 m ³
雨水処理水量				
年間有収水量 (E)	347,283 m ³	12,860 m ³	36,357 m ³	396,500 m ³
有収率 (E/D)	72.8 %	100.0 %	100.0 %	75.4 %
下水道管路総計	98,414 m			98,414 m
汚水管延長	98,414 m			98,414 m
雨水管延長				
合流管延長				

(2) 処理水量

(イ) 農業集落排水事業

地域	項目 地区名	年間処理水量			日平均 処理水量 [m³]
		簡易処理 [m³]	高級処理 [m³]	合計 [m³]	
秋田地域	上 北 手 東 部		12,364	12,364	34
	下 北 手 中 央		53,968	53,968	148
	小 計		66,332	66,332	182
河辺地域	岩 見 三 内 中 央		130,930	130,930	359
	赤 平		36,745	36,745	101
	下 三 内		32,068	32,068	88
	三 内		45,380	45,380	124
	岩 見		14,754	14,754	40
	小 計		259,877	259,877	712
雄和地域	新 波		47,690	47,690	131
	向 野		42,011	42,011	115
	萱 ケ 沢		20,805	20,805	57
	種 平		40,008	40,008	110
	小 計		150,514	150,514	412
合 計			476,723	476,723	1,306

(口) 個別排水処理事業

項目 名称	処理水量 [m³]	日平均 処理水量 [m³]
個 別 排 水 処 理 施 設	12,860	35
特 定 地 域 生 活 排 水 処 理 施 設	36,357	100
合 計	49,217	134

(3) 管路の小破補修状況

管路施設は、築造された当初はその機能を十分に発揮しているが、時間の経過とともに、ひび割れ、継ぎ手部分のずれ、たるみ、蛇行等が生じると、管路の閉塞、不明水量の増大や時には破損に伴う路面陥没等の事故が発生する事態にもなり、計画的な調査、清掃、補修等の維持管理が重要である。

管理する管路延長は、約98kmである。

年度 項目		R2年度 [件]	R3年度 [件]	R4年度 [件]	R5年度 [件]	R6年度 [件]
人孔鉄蓋	取り替え	3	8	5	0	0
	高さ調整	3	4	9	15	3
	据付け直し	0	0	0	0	0
	小計	6	12	14	15	3
陥没	本管等補修	0	0	0	2	0
	汚水取付管補修	0	0	0	0	0
	雨水取付管補修					
	小計	0	0	0	2	0
つまり	本管等補修	0	0	0	0	0
	汚水取付管補修	0	0	0	0	0
	雨水取付管補修					
	小計	0	0	0	0	0
枿	汚水枿補修	0	0	1	4	1
	雨水枿補修					
	小計	0	0	1	4	1
人孔補修		1	0	2	2	0
人孔周り舗装すり付け補修		7	3	1	1	5
その他		0	5	0	0	1
合計		14	20	18	24	10



(4) 農業集落排水施設使用料等収入状況

(イ) 農業集落排水施設使用料および農集集落排水事業分担金

区分 年度		使用料				
		調定件数 [件]	調定額 [円]	収入済額 [円]	収入未済額 [円]	収入率 [%]
R4	現 年 度	14,744	97,132,792	82,164,011	14,968,781	84.59
	過 年 度	2,918	19,608,486	18,868,736	739,750	96.23
	計	17,662	116,741,278	101,032,747	15,708,531	86.54
R5	現 年 度	12,450	77,503,452	67,492,668	10,010,784	87.08
	過 年 度	2,482	15,523,778	15,084,030	439,748	97.17
	計	14,932	93,027,230	82,576,698	10,450,532	88.77
R6	現 年 度	10,100	61,988,163	54,685,896	7,302,267	88.22
	過 年 度	1,788	10,395,462	10,004,445	391,017	96.24
	計	11,888	72,383,625	64,690,341	7,693,284	89.37

※過年度の調定額は前年度未収入未決済額より不納欠損額を除いたもの。

※消費税を含む。

分担金			
調定額 [円]	収入済額 [円]	収入未済額 [円]	収入率 [%]
0	0	0	0.00
7,000	7,000	0	100.00
7,000	7,000	0	100.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00

(ロ) 個別排水処理施設使用料および個別排水処理施設整備事業分担金

区分 年度		使用料				
		調定件数 [件]	調定額 [円]	収入済額 [円]	収入未済額 [円]	収入率 [%]
R4	現 年 度	365	2,350,559	1,933,151	417,408	82.24
	過 年 度	65	430,456	430,456	0	100.00
	計	430	2,781,015	2,363,607	417,408	84.99
R5	現 年 度	378	2,215,935	1,847,132	368,803	83.36
	過 年 度	65	417,408	417,408	0	100.00
	計	443	2,633,343	2,264,540	368,803	85.99
R6	現 年 度	380	2,159,004	1,782,965	376,039	82.58
	過 年 度	63	368,803	368,803	0	100.00
	計	443	2,527,807	2,151,768	376,039	85.12

※過年度の調定額は前年度未収入未決済額より不納欠損額を除いたもの。

※消費税を含む。

分担金			
調定額 [円]	収入済額 [円]	収入未済額 [円]	収入率 [%]
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00
0	0	0	0.00

(ハ) 特定地域生活排水処理施設使用料および特定地域生活排水処理施設整備事業分担金

区分 年度		使用料				
		調定件数 [件]	調定額 [円]	収入済額 [円]	収入未済額 [円]	収入率 [%]
R4	現 年 度	1,090	6,072,012	5,157,153	914,859	84.93
	過 年 度	181	983,520	983,520	0	100.00
	計	1,271	7,055,532	6,140,673	914,859	87.03
R5	現 年 度	1,087	6,043,675	5,301,948	741,727	87.73
	過 年 度	164	914,859	914,859	0	100.00
	計	1,251	6,958,534	6,216,807	741,727	89.34
R6	現 年 度	1,105	6,056,157	5,325,690	730,467	87.94
	過 年 度	136	741,727	741,727	0	100.00
	計	1,241	6,797,884	6,067,417	730,467	89.25

※過年度の調定額は前年度未収入未決済額より不納欠損額を除いたもの。

※消費税を含む。

分担金			
調定額 [円]	収入済額 [円]	収入未済額 [円]	収入率 [%]
352,800	264,600	88,200	75.00
0	0	0	0.00
352,800	264,600	88,200	75.00
264,600	0	264,600	0.00
88,200	88,200	0	100.00
352,800	88,200	264,600	25.00
286,800	286,800	0	100.00
264,600	264,600	0	100.00
551,400	551,400	0	100.00

(5) 使用状況

(イ) 用途、使用水、段階別使用状況

区 分 用途、使用水別			使 用 水 量			
			～10m ³	11～30m ³	31～50m ³	51～100m ³
水道水	一般汚水	件 数(件)	3,797	5,173	901	125
		水 量(m ³)	33,991	187,804	66,930	14,904
		調定金額(円)	8,357,439	28,393,266	12,396,606	3,212,565
		(うち基本料金 (円))	(8,357,439)	(11,600,610)	(2,019,822)	(269,054)
	浴場用	件 数(件)	－	－	－	－
		水 量(m ³)	－	－	－	－
		調定金額(円)	－	－	－	－
		(うち基本料金 (円))	－	－	－	－
水道水以外	一般汚水	件 数(件)	12	533	－	－
		水 量(m ³)	9	12,456	－	－
		調定金額(円)	13,464	1,384,148	－	－
		(うち基本料金 (円))	(13,464)	(1,191,189)	－	－
	浴場用	件 数(件)	－	－	－	－
		水 量(m ³)	－	－	－	－
		調定金額(円)	－	－	－	－
		(うち基本料金 (円))	－	－	－	－
計	件 数(件)	3,809	5,706	901	125	
	水 量(m ³)	34,000	200,260	66,930	14,904	
	調定金額(円)	8,370,903	29,777,414	12,396,606	3,212,565	
	(うち基本料金 (円))	(8,370,903)	(12,791,799)	(2,019,822)	(269,054)	

※ () 内の数値は各区分の調定金額のうち、基本料金に係るものを示している。

※件数について、使用水を併用している場合は件数を再計上している。

(調定金額は消費税相当額を含む)

使 用 水 量			計	構成比 (%)	一件当り	単 価 (円／m ³)
101～500m ³	501～1000m ³	1,001m ³ 以上				
30	14	－	10,040	94.74	－	－
12,221	9,569	－	325,419	93.70	32.41	－
3,532,951	3,135,048	－	59,027,875	95.22	5,879.27	181.39
(65,076)	(17,952)	－	(22,329,953)	(37.83)	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
－	11	1	557	5.26	－	－
－	8,290	1,109	21,864	6.30	39.25	－
－	1,375,121	187,555	2,960,288	4.78	5,314.70	135.40
－	(12,342)	(1,122)	(1,218,117)	(41.15)	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
－	－	－	－	0.00	－	－
30	25	1	10,597	100.00	－	－
12,221	17,859	1,109	347,283	100.00	32.77	－
3,532,951	4,510,169	187,555	61,988,163	100.00	5,849.60	178.49
(65,076)	(30,294)	(1,122)	(23,548,070)	(37.99)	－	－

(6) 水洗化融資あっせん等

(イ) 制度の概要

融資・助成対象			金額	償還方法 (毎月均等)	備考
融資 あっせん	くみ取り式 トイレ改造	一般住宅	・ 工事に要した費用の範囲内において 一戸70万円以内	70月以内	・ 1戸1回 限り融資 ・ 利子全 額上下水 道局が負 担
		貸家 アパート	・ 便槽の数が1槽の場合、70万円以内 ・ 便槽の数が2槽以上ある場合 1槽につき60万円以内とし、300万円を 限度とする		
	浄化槽切替	一般住宅	・ 工事に要した費用の範囲内において 一戸30万円以内	30月以内	
		貸家 アパート	・ 浄化槽の数が1槽の場合、30万円以内 ・ 浄化槽の数が2槽以上ある場合 1槽につき25万円以内とし、125万円を 限度とする		
	既設浄化槽 から 個別排水 処理施設	一般住宅	・ 工事に要した費用の範囲内において 一戸50万円以内	50月以内	
		貸家 アパート	・ 浄化槽の数が1槽の場合、50万円以内 ・ 浄化槽の数が2槽以上ある場合 1槽につき25万円以内とし、125万円を 限度とする		
	雑排水のみ	一般住宅	・ 工事に要した費用の範囲内において 一戸30万円以内	30月以内	
ポンプ設備 設置	一般住宅	・ 工事に要した費用の範囲内において 40万円以内	主たる工事 の償還期間	・ 同上 (上記事 との併用 に限る)	
	貸家 アパート				
助成 金	くみ取り式 トイレ改造	一般住宅	・ 供用開始日から3年以内 4万円 1戸1件とする ・ 供用開始日から3年を経過 2万円 1戸1件とする		・ 自己資 金で改造 の場合
	浄化槽切替	貸家 アパート	・ 便槽又は浄化槽の数が1の場合は 一般住宅と同じ ・ 便槽又は浄化槽の数が2以上ある場合 供用開始日から3年以内 4万円(総額20万円以内) 供用開始日から3年を経過 2万円(総額10万円以内)		
	既設浄化槽 から 個別排水 処理施設 雑排水のみ				
補助 金	くみ取り式 トイレ改造	生活扶助 世帯	・ 26万7千円を限度とする		・ 福祉保 健部にも 補助制度 あり

(ロ) 融資あっせん等の状況

年度 項目		農業集落排水事業				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
融 資 あ っ せ ん	件 数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	金 額	0 円	0 円	0 千円	0 千円	0 千円
	平均融資額	0 円	0 円	0 千円	0 千円	0 千円
	年 利 率	1.95 %	2.00 %	2.10 %	2.50 %	2.50 %
利 子 補 給 金	延 べ 件 数	16 件	13 件	12 件	8 件	4 件
	金 額	26 千円	18 千円	10 千円	5 千円	2 千円
助 成 金	交 付 件 数	4 件	0 件	2 件	1 件	1 件
	金 額	80 千円	0 円	40 千円	20 千円	20 千円
補 助 金	交 付 件 数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	金 額	0 円	0 円	0 千円	0 千円	0 千円

年度 項目		個別排水処理事業				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
融 資 あ っ せ ん	件 数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	金 額	0 円	0 円	0 千円	0 千円	0 千円
	平均融資額	0 円	0 円	0 千円	0 千円	0 千円
	年 利 率	1.95 %	2.00 %	2.10 %	2.50 %	2.50 %
利 子 補 給 金	延 べ 件 数	7 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	金 額	3 千円	1 千円	0 千円	0 千円	0 千円
助 成 金	交 付 件 数	1 件	0 件	2 件	0 件	4 件
	金 額	40 千円	0 円	80 千円	0 千円	160 千円

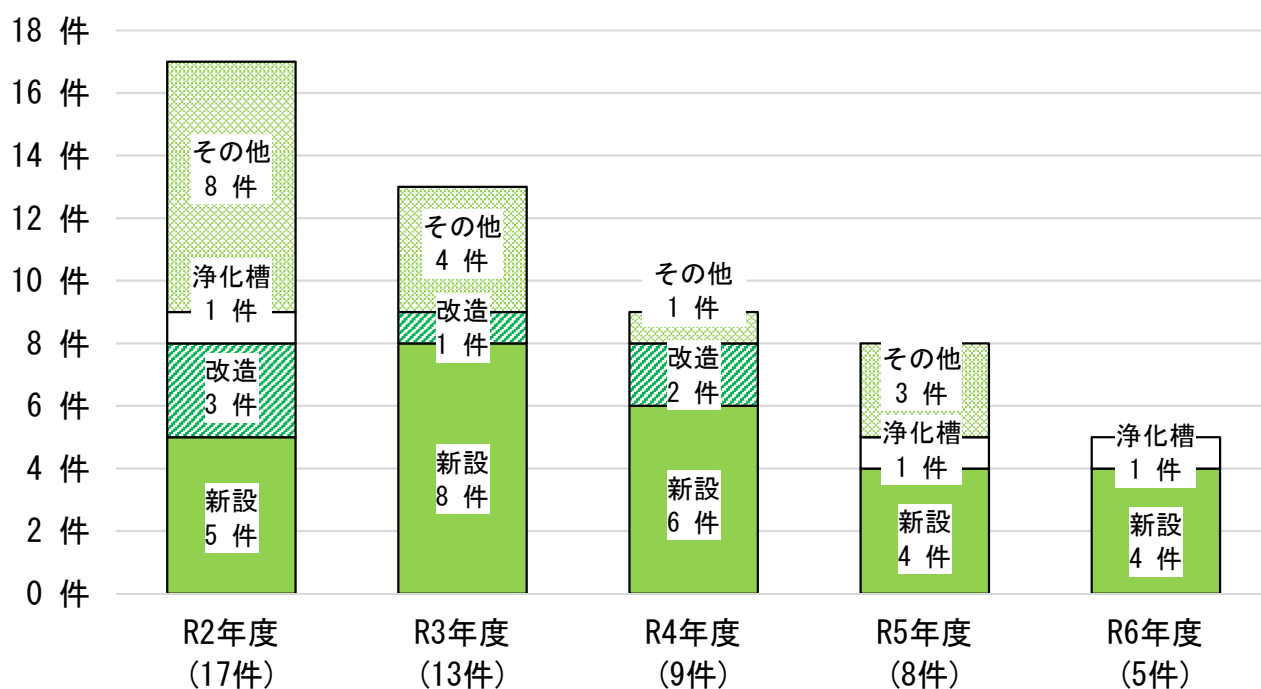
(7) 排水設備工事件数

(イ) 農業集落排水事業

区分 月別	受付件数[件]					検査件数[件]				
	新設	改造	浄化槽	その他	計	新設	改造	浄化槽	その他	計
4月	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1
5月	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2月	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 (前年度)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (3)	5 (8)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	7 (6)
月平均	0.3	0.0	0.1	0.0	0.4	0.3	0.0	0.1	0.2	0.6

注) その他・・・改築、増設等

排水設備工事の受付状況

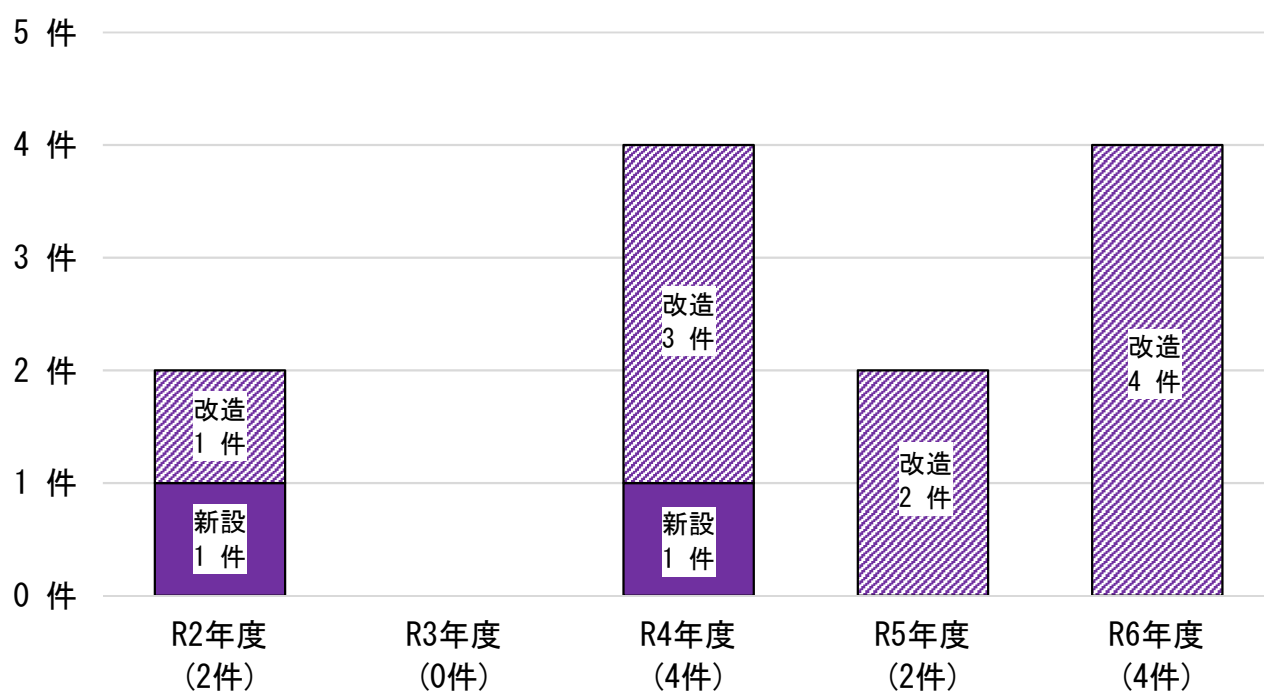


(ロ) 個別排水処理事業

区分 月別	受付件数[件]					検査件数[件]				
	新設	改造	浄化槽	その他	計	新設	改造	浄化槽	その他	計
4月	0	1		0	1	0	1		0	1
5月	0	0		0	0	0	1		0	1
6月	0	1		0	1	0	0		0	0
7月	0	0		0	0	0	0		0	0
8月	0	0		0	0	0	0		0	0
9月	0	0		0	0	0	1		0	1
10月	0	0		0	0	0	0		0	0
11月	0	1		0	1	0	0		0	0
12月	0	1		0	1	0	2		0	2
1月	0	0		0	0	0	0		0	0
2月	0	0		0	0	0	0		0	0
3月	0	0		0	0	0	0		0	0
合計 (前年度)	0 (0)	4 (2)		0 (0)	4 (2)	0 (0)	5 (1)		0 (0)	5 (1)
月平均	0.0	0.3		0.0	0.3	0.0	0.4		0.0	0.4

注) その他…改築、増設等

排水設備工事の受付状況





4 経 理



上北手東部農業集落排水処理施設

4 経理

(1) 収益の収支（損益計算書）

項目	年度	R4年度		R5年度		R6年度	
		金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]
1 農業集落排水事業収益		590,565	94.7	498,533	93.5	412,375	92.3
(1) 営業収益		89,045	14.3	71,199	13.4	56,699	12.7
ア 農業集落排水事業収益		88,310	14.2	70,464	13.2	56,358	12.6
イ 他会計負担金		735	0.1	735	0.2	341	0.1
(2) 営業外収益		498,557	79.9	427,175	80.1	355,591	79.6
ア 受取配当金		5	0.0	6	0.0	257	0.1
イ 他会計補助金		317,867	51.0	294,072	55.2	236,140	52.8
ウ 長期前受金戻入		180,217	28.9	132,895	24.9	119,188	26.7
エ 雑収益		468	0.0	202	0.0	6	0.0
(3) 特別利益		2,963	0.5	159	0.0	85	0.0
2 個別排水処理事業収益		33,076	5.3	34,834	6.5	34,631	7.7
(1) 営業収益		7,658	1.2	7,510	1.4	7,469	1.7
ア 個別排水処理施設使用料		2,137	0.3	2,015	0.4	1,963	0.5
イ 特定地域生活排水処理施設使用料		5,521	0.9	5,495	1.0	5,506	1.2
(2) 営業外収益		25,418	4.1	27,324	5.1	27,142	6.0
ア 個別排水処理施設 他会計補助金		5,849	0.9	6,289	1.2	5,907	1.3
イ 特定地域生活排水処理施設 他会計補助金		18,083	2.9	19,539	3.6	19,756	4.4
ウ 個別排水処理施設 長期前受金戻入		279	0.1	274	0.1	225	0.1
エ 特定地域生活排水処理施設 長期前受金戻入		1,207	0.2	1,222	0.2	1,254	0.2
(3) 特別利益		-	0.0	-	0.0	20	0.0
総 収 益		623,641	100.0	533,367	100.0	447,006	100.0

項目	年度	R4年度		R5年度		R6年度	
		金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]
1 農業集落排水事業費		565,173	94.9	481,925	93.3	395,885	92.1
(1) 営業費用		516,460	86.7	442,254	85.6	368,585	85.8
ア 管渠費		31,434	5.3	31,620	6.1	26,950	6.3
イ 処理場費		117,865	19.8	101,581	19.7	91,413	21.3
ウ 流域下水道費		-	0.0	-	0.0	-	0.0
エ 工業務費		5,139	0.9	4,463	0.9	4,039	0.9
オ 総係費		13,478	2.2	18,590	3.6	19,521	4.5
カ 減価償却費		315,991	53.0	269,696	52.2	225,871	52.6
キ 資産減耗費		32,553	5.5	16,304	3.1	791	0.2
(2) 営業外費用		48,713	8.2	39,667	7.7	27,300	6.3
ア 支払利息及び 企業債取扱諸費		35,996	6.1	27,787	5.4	16,786	3.9
イ 雑支出		12,717	2.1	11,880	2.3	10,514	2.4
(3) 特別損失		-	0.0	4	0.0	-	0.0
2 個別排水処理事業費		30,683	5.1	34,425	6.7	34,158	7.9
(1) 営業費用		29,040	4.8	32,862	6.4	32,673	7.6
ア 個別排水処理施設 浄化槽施設費		3,593	0.6	4,702	0.9	4,556	1.1
イ 個別排水処理施設 業務費		107	0.0	109	0.0	119	0.0
ウ 個別排水処理施設 減価償却費		3,637	0.6	3,575	0.7	3,010	0.7
エ 特定地域生活排水処理施設 浄化槽施設費		10,104	1.7	12,796	2.5	12,802	3.0
オ 特定地域生活排水処理施設 業務費		400	0.0	326	0.1	502	0.1
カ 特定地域生活排水処理施設 減価償却費		10,793	1.8	11,354	2.2	11,684	2.7
キ 特定地域生活排水処理施設 資産減耗費		406	0.1	-	0.0	-	0.0
(2) 営業外費用		1,643	0.3	1,563	0.3	1,485	0.3
ア 個別排水処理施設 支払利息及び企業債取扱諸費		197	0.0	181	0.0	165	0.0
イ 特定地域生活排水処理施設 支払利息及び企業債取扱諸費		1,446	0.3	1,382	0.3	1,320	0.3
(3) 特別損失		-	0.0	-	0.0	-	0.0
総費用		595,856	100.0	516,350	100.0	430,043	100.0
経常損益		24,822		16,862		16,858	
収支差引（純損益）		27,785		17,017		16,963	

(2) 資本的収支

年度 項目		R4年度 [千円]	R5年度 [千円]	R6年度 [千円]
収	1 農業集落排水事業 資本的収入	135,518	109,898	108,442
	(1) 企業債	24,400	10,600	26,500
	(2) 出資金	85,873	81,078	36,610
	(3) 補助金	9,100	-	5,000
	(4) 負担金	14,606	16,804	39,042
	(5) 基金繰入金	1,539	1,416	1,290
	(6) 固定資産売却代金	-	-	-
入	2 個別排水処理事業 資本的収入	13,076	12,382	11,453
	(1) 企業債	3,400	3,300	3,000
	(2) 出資金	8,257	8,015	7,312
	ア 個別排水処理施設 他会計出資金	1,232	1,277	1,604
	イ 特定地域生活排水処理施設 他会計出資金	7,025	6,738	5,708
	(3) 補助金	1,066	802	854
	(4) 負担金	353	265	287
	合 計		148,594	122,280

年度 項目		R4年度 [千円]	R5年度 [千円]	R6年度 [千円]
支 出	1 農業集落排水事業 資本的支出	333,845	281,173	227,887
	(1) 建設改良費	57,483	48,502	79,427
	ア 建設事業費	-	-	-
	イ 建設改良事業費	55,773	46,698	78,463
	ウ 固定資産取得費	1,710	1,804	964
	(2) 企業債償還金	276,361	232,670	148,456
	(3) 投資	1	1	4
	2 個別排水処理事業 資本的支出	20,687	19,776	19,167
	(1) 建設改良費	11,635	10,624	9,640
	(2) 企業債償還金	9,052	9,152	9,527
合 計		354,532	300,949	247,054
収 支 不 足 額		205,938	178,669	127,159
補 て ん 財 源	(1) 内部留保資金	182,208	148,044	107,182
	(2) 減債積立金	20,633	27,785	17,017
	(3) 利益剰余金	-	-	-
	(4) その他	3,097	2,840	2,960
	計	205,938	178,669	127,159
補 て ん 財 源 不 足 額		0	0	0

(3) 貸借対照表

項目 \ 年度	R4年度		R5年度		R6年度	
	金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]
1 固定資産	8,321,193	92.3	6,892,762	90.6	5,558,739	88.1
(1) 有形固定資産	8,311,199	92.2	6,884,327	90.5	5,551,662	87.9
ア 土地	92,868	1.0	78,708	1.0	71,227	1.1
イ 建物	1,168,762	13.0	911,860	12.0	741,056	11.7
ウ 構築物	6,497,374	72.0	5,443,583	71.6	4,300,039	68.2
エ 機械及び装置	510,283	5.7	423,184	5.6	362,119	5.7
オ 工具、器具及び備品	394	0.0	413	0.0	471	0.0
カ 建設仮勘定	41,518	0.5	26,579	0.3	76,750	1.2
(2) 無形固定資産	3,456	0.0	3,312	0.0	3,240	0.1
ア 電話加入権	3,456	0.0	3,312	0.0	3,240	0.1
(3) 投資	6,538	0.1	5,123	0.1	3,837	0.1
ア 基金	6,538	0.1	5,123	0.1	3,837	0.1
2 流動資産	696,970	7.7	710,986	9.4	754,349	11.9
(1) 現金・預金	668,473	7.4	698,598	9.2	715,254	11.3
(2) 未収金	17,663	0.2	12,759	0.2	39,327	0.6
貸倒引当金	△ 596		△ 371		△ 232	
(3) 前払金	11,430	0.1	-	0.0	-	0.0
資産合計	9,018,163	100.0	7,603,748	100.0	6,313,088	100.0

項目 \ 年度	R4年度		R5年度		R6年度	
	金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]
3 固 定 負 債	2,019,560	22.4	1,663,941	21.9	1,218,819	19.3
(1) 企 業 債	1,986,324	22.0	1,626,129	21.4	1,175,257	18.6
(2) 引 当 金	33,236	0.4	37,812	0.5	43,562	0.7
4 流 動 負 債	316,989	3.5	278,669	3.6	223,833	3.5
(1) 企 業 債	275,775	3.1	235,706	3.1	156,664	2.5
(2) 未 払 金	29,096	0.3	30,761	0.4	54,921	0.9
(3) 引 当 金	2,847	0.0	2,916	0.0	3,008	0.0
(4) そ の 他 流 動 負 債	9,271	0.1	9,286	0.1	9,240	0.1
5 繰 延 収 益	3,563,347	39.5	2,812,395	37.0	2,411,152	38.2
長 期 前 受 金	5,340,585	39.5	4,396,273	37.0	3,949,946	38.2
収 益 化 累 計 額	△ 1,777,238		△ 1,583,878		△ 1,538,794	
負 債 合 計	5,899,896	65.4	4,755,005	62.5	3,853,804	61.0
6 資 本 金	2,863,291	31.8	2,604,736	34.3	2,228,486	35.3
7 剰 余 金	254,976	2.8	244,007	3.2	230,798	3.7
(1) 資 本 剰 余 金	206,558	2.3	199,205	2.6	196,818	3.1
ア 受 贈 財 産 評 価 額	-	0.0	-	0.0	-	0.0
イ 負 担 金	2,881	0.0	2,342	0.0	2,003	0.0
ウ 補 助 金	203,677	2.3	196,863	2.6	194,815	3.1
(2) 利 益 剰 余 金	48,418	0.5	44,802	0.6	33,980	0.6
ア 当 年 度 未 処 分 金 利 益 剰 余 金	48,418	0.5	44,802	0.6	33,980	0.6
資 本 合 計	3,118,267	34.6	2,848,743	37.5	2,459,284	39.0
負 債 資 本 合 計	9,018,163	100.0	7,603,748	100.0	6,313,088	100.0

(4) 財務分析

項目		説明	R4年度
資産・資本構成比率	固定資産構成比率	資産に対する固定資産の占める割合	92.27 %
	自己資本構成比率	総資本に対する自己資本の占める割合	74.09 %
	固定資産対長期資本比率	固定資産が自己資本と長期借入金により調達しているかを示す割合	95.63 %
	固定比率	固定資産がどの程度自己資本により調達しているかを示す割合	124.54 %
	流動比率	短期債務に対して流動資産支払能力が十分であるかを示す割合	219.87 %
	現金比率	流動負債に対する現金預金の割合（即座の支払い能力の指標）	210.88 %
	当座比率（酸性試験比率）	流動負債に対する現金預金・未収金の割合（支払い能力の指標）	216.27 %
回転比率	固定資産回転率	営業収益と投下された固定資産の利用状況を示すもの	0.01 回
	自己資本回転率	自己資本に対する営業収益の割合で、活動能率を示すもの	0.01 回
	流動資産回転率	流動資産がどの程度経営活動に利用されているかを示すもの	0.14 回
	現金預金回転率	現金預金がどの程度経営活動に利用されているかを示すもの	0.92 回
	未収金回転率	未収金の回収の程度を示すもの	4.19 回
損益比率	総資本利益率	総資本がどれだけの利益をあげたかを示す割合	0.29 %
	総収支比率	総収益と総費用を比較したもの	104.66 %
	経常収支比率	経常利益と経常費用を比較したもの	104.17 %
	営業収支比率	営業収益と営業費用を比較したもの（営業のみの収支比較）	17.73 %
	利子負担率	支払利息と企業債等の借入金の割合（利率の高低を示すもの）	1.66 %
	減価償却率	資産に対する減価償却費の割合（資産の老朽化の度合いを示すもの）	3.88 %
	企業債元金償還金対減価償却額比率	企業償還元金と償還財源である減価償却費を比較したもの	92.44 %
	職員一人当たり営業収益	職員一人当たりがどの程度の営業収益をあげているかを示すもの	48,351 千円
	職員一人当たり有形固定資産	職員一人当たりがどの程度の固定資産を保有しているかを示すもの	2,077,800 千円

R5年度	R6年度	算定方法
90.65 %	88.05 %	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$
74.45 %	77.15 %	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
94.10 %	91.29 %	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
121.76 %	114.13 %	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$
255.14 %	337.01 %	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
250.69 %	319.55 %	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
255.14 %	337.01 %	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$
0.01 回	0.01 回	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \times 1 / 2}$
0.01 回	0.01 回	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \times 1 / 2}$
0.11 回	0.09 回	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \times 1 / 2}$
0.74 回	0.58 回	$\frac{\text{当年度支出額}}{(\text{期首現金預金} + \text{期末現金預金}) \times 1 / 2}$
5.17 回	2.46 回	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \times 1 / 2}$
0.20 %	0.24 %	$\frac{\text{当年度純利益} (\text{当年度純損失})}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \times 1 / 2} \times 100$
103.30 %	103.94 %	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
103.27 %	103.92 %	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
16.57 %	15.99 %	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$
1.58 %	1.37 %	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{建設改良の財源に充てるための企業債・長期借入金} + \text{その他の企業債・長期借入金} + \text{一時借入金} + \text{リース債務}} \times 100$
4.02 %	4.26 %	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$
84.96 %	65.67 %	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$
39,354 千円	32,084 千円	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
1,721,082 千円	1,387,915 千円	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益・資本勘定所属職員数}}$

(5) 企業債内訳

項目		R4年度		R5年度		R6年度	
		金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]	金額 [千円]	構成比 [%]
借入先別	財 務 省	1,485,451	65.7	1,207,162	64.8	831,298	62.4
	地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	776,648	34.3	654,673	35.2	500,623	37.6
	北 都 銀 行	－	0.0	－	0.0	－	0.0
	秋 田 な ま は げ 農 業 協 同 組 合	－	0.0	－	0.0	－	0.0
	計	2,262,099	100.0	1,861,835	100.0	1,331,921	100.0
借入利率別	1.0%未満	685,756	30.3	608,669	32.7	540,934	40.6
	1.0%以上2.0%未満	481,424	21.3	365,805	19.7	232,236	17.4
	2.0%以上3.0%未満	1,016,051	44.9	864,100	46.4	548,962	41.3
	3.0%以上4.0%未満	70,073	3.1	22,445	1.2	9,789	0.7
	4.0%以上5.0%未満	8,795	0.4	816	0.0	－	0.0
	5.0%以上6.0%未満	－	0.0	－	0.0	－	0.0
	6.0%以上7.0%未満	－	0.0	－	0.0	－	0.0
	7.0%以上7.5%未満	－	0.0	－	0.0	－	0.0
	7.5%以上8.0%未満	－	0.0	－	0.0	－	0.0
	8.0%以上	－	0.0	－	0.0	－	0.0
計		2,262,099	100.0	1,861,835	100.0	1,331,921	100.0

5 使用料等



種平農業集落排水処理施設



5 使用料等

(1) 現行使用料等

(イ) 農業集落排水施設使用料、個別排水処理施設使用料

農業集落排水施設使用料および個別排水処理施設使用料は、水道水等の使用水量に応じて算定し、水道料金とともに徴収している。

なお、水道水以外の水を使用している場合の排除汚水量は、使用者の使用の態様を勘案して次のとおり認定している。

- ①家事用に使用する場合は、1世帯1か月につき15 m³として認定する。ただし、使用水を水道水と併用する場合は、1世帯1か月につき12 m³として認定する。
- ②家事用以外に使用する場合については、排除汚水量申告書により排除汚水量を認定する。
- ③動力式揚水設備で計量のための装置が設置されている場合は、その使用水量とする。

○水道水を使用した場合（1か月）

（農業集落排水 H16.7.1 改定、個別排水 H17.1.11 改定）

種別	水量段階 区域	基本 使用料 10 m ³ まで	従量使用料（1 m ³ につき）					
			11～ 30 m ³	31～ 50 m ³	51～ 100 m ³	101～ 500 m ³	501～ 1,000 m ³	1,000 m ³ 以上
一般 污水	処理区域	1,020 円	181 円	226 円	249 円	305 円	352 円	427 円
	処理区域外	577 円	107 円	123 円	138 円	169 円	195 円	235 円
公衆 浴場 污水	処理区域	1,020 円	48 円					
	処理区域外	577 円	27 円					

※上記により計算した額に消費税等相当額を加えた額が使用料。

○水道水以外の水（地下水等）を使用した場合（1か月）

（農業集落排水 H16.7.1 改定、個別排水 H17.1.11 改定）

種別	水量段階 区域	基本 使用料 10 m ³ まで	従量使用料（1 m ³ につき）			
			11～15 m ³	16～100 m ³	101～500 m ³	501 m ³ 以上
一般 污水	処理区域	1,020 円	75 円	142 円	149 円	160 円
	処理区域外	577 円	45 円	80 円	86 円	91 円
公衆 浴場 污水	処理区域	1,020 円	48 円			
	処理区域外	577 円	27 円			

※上記により計算した額に消費税等相当額を加えた額が使用料。

(ロ) 農業集落排水事業分担金

農業集落排水施設の利用は、その整備区域に限られており、公費で施設建設費全額をまかなうことは負担の公平を欠くことになることから、整備区域内の土地所有者等（受益者）から一部を負担していただくものである。

受益者分担金は、昭和 60 年に条例を制定し賦課徴収を行ってきたが、負担金額の適正化を図るため、平成 7 年に改定した。

事業区分	分担金の額
処理施設に係る事業	事業に要する費用に 100 分の 5 を乗じて得た額
管きょに係る事業	事業に要する費用に 100 分の 5 を乗じて得た額
取付管きょ施設に係る事業	事業に要する費用に 100 分の 100 を乗じて得た額

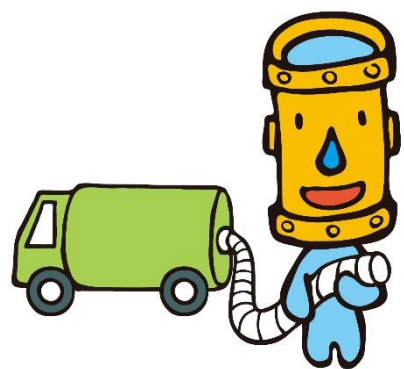
分担金は、当該排水事業における各年度の事業費が確定したときに賦課する。

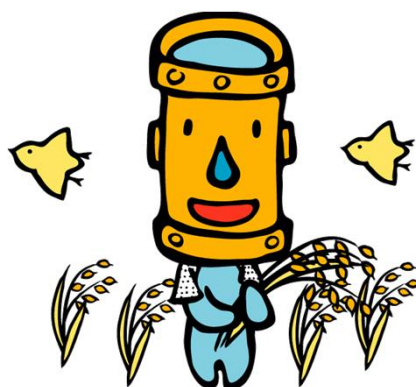
(ハ) 個別排水処理施設整備事業分担金

個別排水処理施設の利用は、その使用者に限られており、公費で施設建設費全額をまかなうことは負担の公平を欠くことになることから、施設の使用者等（受益者）から一部を負担していただくものである。

人槽区分	分担金の額
5 人槽	88,200 円
6 人槽および 7 人槽	110,400 円
8 人槽から 10 人槽まで	149,500 円
11 人槽以上	個別排水処理施設の設置に要する費用の額の 1 割に相当する額を超えない範囲で管理者が定めた額

分担金は、個別排水処理施設が完成したときに賦課する。





令和6年度
農業集落排水事業統計年報
令和7年10月14日

発行・編集 秋田市上下水道局総務課（経営企画係）

〒010-0945 秋田市川尻みよし町14番8号

電話 018-823-8434

ファクス 018-824-7414

Eメール ro-wtmn@city.akita.lg.jp

ホームページ <https://www.city.akita.lg.jp/suido/index.html>